

第3回上越市観光振興計画策定検討委員会

日時 平成27年11月26日(木) 午後1時30分～

会場 上越市役所 4階 401会議室

次 第

1 開会

2 議事

(1) 計画コンセプトと施策の体系について

(2) 柱となる事業の方向性と取組内容について

(3) 意見交換

3 その他

4 閉会

観光振興計画のコンセプトと施策の体系

現状分析の総括

分析項目	主な分析内容(総括)
1. 観光への広域的な要請	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線の開業や小木直江津航路の高速化、上越自動車道の4車線化(平成30年度完成予定)といった広域交通の整備やネットワーク化が図られることは、交流可能圏域が大きく拡大し、円滑な交通確保がされるなど、当市への観光振興に大きく寄与することを期待したい 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会が、近年の訪日外国人の増加による外国人旅行者の誘致に拍車をかける。官民一体となり強く取り組んでいってほしい
2. 観光への地域的な要請	<ul style="list-style-type: none"> 海水浴利用を増やしたい 関東から北陸や東北への中継地点として、立ち寄りによる観光を促進したい 四季の彩りと海や山、田園などの「自然景観」や米、酒、魚など豊富な「食」を活かしたい 認知度や関心度が高い「春日山城跡周辺」や「城下町高田」の歴史、文化的魅力を今後も活かしたい 平成30年春の新水族博物館の開館は、交流人口拡大のための拠点施設と期待している 観光に対する地域住民の意識を醸成したい
3. 観光資源の分析評価(強み・弱み)	<ul style="list-style-type: none"> 海資源および山資源の両方が揃う 食に関する優れた素材や、歴史ある土地柄、歴史・文化的資源など、多くの観光資源化の可能性の高い資源・素材を保有する。ただし、市全域に分散しており、時間をかけた移動を伴うため周遊には非効率的 四季ごとに、集客力の高いイベントを数多く開催している一方で、イベント開催時における大量集客に偏りがちで、通年での安定的な集客力は低い
4. 関連資源や地域条件のポテンシャル分析評価	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線、高速道路、在来鉄道、航路の結節点であり、乗り換え時の立ち寄り機会が期待できる。その一方で、各交通手段における接続性が悪く、2次交通が弱い 先進的かつ多様な「利雪」への取組とノウハウの蓄積がある 宿泊施設不足、ユニバーサルデザインへの対応遅れなど、多様な観光旅行者に対応できる受入体制が整っていない 観光に携わる担い手の不足や、関連組織同士の連携不足 市の財源の見通しが厳しく、取り組むべき施策の精査が必要
5. 社会条件や市場動向の分析(マーケティング)	<ul style="list-style-type: none"> 日本における人口減少、高齢化の進行により、集客競争が激化する 2030年ごろまでに世界人口の66%がアジア太平洋地域に集中し、アジアのマーケットが拡大する一方、日本の中間所得層の購買力は半減する 国内旅行マーケットは縮小傾向の一方、歴史的・文化的資源を保有する地域への旅行意欲の高さは高水準で推移 モバイル機器の利用率向上により、簡便に情報収集が可能、かつ、臨場感ある共有の機会が拡大
6. 競合条件の検討(脅威等)	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線の開業により、観光地として強い吸引力を有する富山や金沢が新たな競合地として顕在化 隣接する妙高市の観光資源は、上越市の有する資源(スキー、トレッキング・登山など)とも一致し、強い優位性をもつ 上越市は観光地・旅行先としての認知度が低い

計画コンセプトの設定

○将来の空間イメージや来訪者の活動イメージ
 人と地域との間に良好な関係性が築かれており、心の豊かさが満たされ、快適で充実したすこやかな暮らしを送ることができ、市民が誇りと愛着を持ち、住み続けたいと思う「すこやかなまち」を目指すことにより、「住んでよし、訪れてよし」の魅力的な地域として来訪者から選ばれるまちとなる
 →自然や歴史・文化などの地域資源の魅力があふれるまちなか空間をいかした周遊
 →レクリエーション・体験(海水浴、スノースポーツ、トレッキング、グリーンツーリズム等)

満足と感動！人と地域が輝く上越(仮)
 ~選ばれる観光地域づくり~

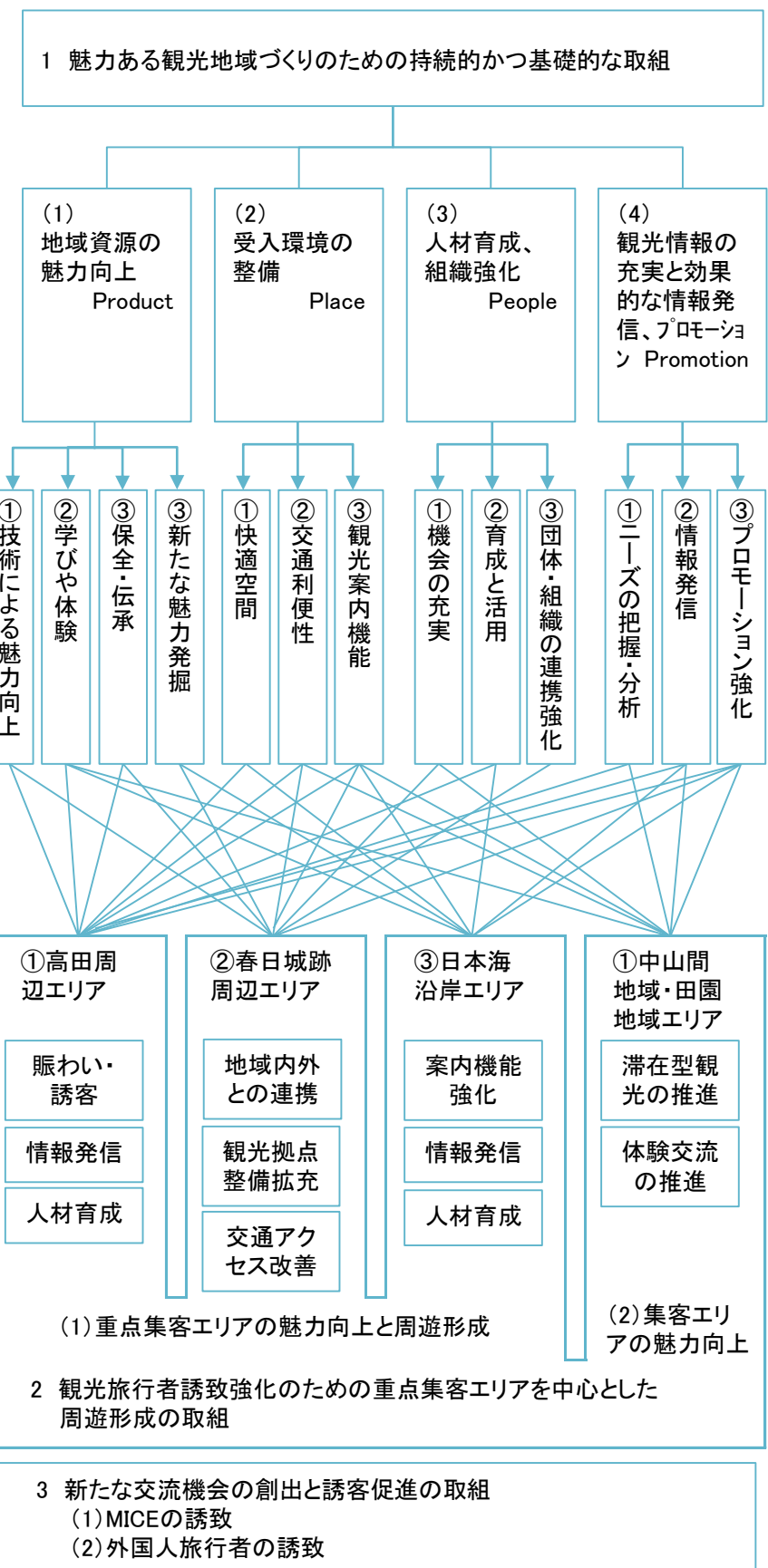
○主要な誘致エリア
 首都圏(+中部、関西圏)
 →自然や歴史など、価値あるまちなか空間を活かした周遊
 →グリーンツーリズム体験
 近隣圏
 →レクリエーション(海水浴を中心として)
 地元圏
 →レクリエーション(スノースポーツを中心として)

○主要な誘致ターゲット層
 自然や歴史など価値あるまちなか空間を活かした周遊
 →北陸新幹線利用者(立ち寄りをきっかけにして周遊)など
 レクリエーション(海水浴、スノースポーツ、トレッキング等)
 →ファミリー、若年層、中高年層など
 グリーンツーリズム体験
 →学校、企業、ファミリーなど

○重点方針(整備方針)
 ・北陸新幹線の開業後の効果を持続させるための施策の展開
 ・農林水産業の振興と中心市街地・商店街の活性化への寄与
 ・海水浴場やスキー場の観光レクリエーション産業の振興
 ・新水族館のオープン効果を活かした施策の展開
 ・オリンピック・パラリンピック東京の開催を見据えた合宿と外国人観光旅行者の誘致強化

○(数値目標)
 観光入込 (H26年)5,647,164人→(H31年)7,530,000人
 宿泊定員稼働率 (H26年)32.4%→(H31年)43.4%
 観光消費額(H26年)273億9,600万円
 →(H31年)365億3,000万円
 滞在満足度(H26年)77.7点/100点満点
 →(H31年)80.8点/100点満点
 再訪問意向(H26年)81.3点/100点満点
 →(H31年)83.4点/100点満点

施策の体系



観光振興計画フレーム(案)

第1章 上越市における観光とは

1. 上越市が観光に取り組む意義

【記載内容】

「骨子素案(コア部分)」(第 2 回検討委員会資料)に記載されている【観光に取り組む意義】を記載

- 地域経済の活性化のための手段(かね)
- 地域への誇りと愛着の醸成、地域資源の保全のための手段(ひと、もの)
- 地域住民の豊かな生活空間を形成するための手段(空間)

2. 観光を取り巻く情勢と課題

(1) 国の動向

【記載内容】

国の観光方針や展開事業、オリンピック・パラリンピック開催に関連する国の動向を整理

- 「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」に基づき、インバウンド誘致や来訪者が地域の魅力を体感し、再び訪れたい観光地域づくりに力を注ぐなど、観光分野における盛り上がりの機運がある

(2) 国内旅行の動向

【記載内容】

日本国内での旅行動向について、旅行回数や宿泊数など国内旅行の動向について、性別や年代別など、関連する分析軸から整理

- 観光庁が実施する「旅行・観光消費動向調査」や「宿泊旅行統計調査」等のデータを基に、市場ボリュームや経年変化を分析

(3) インバウンドの動向

【記載内容】

国が実施している「ビジットジャパンキャンペーン」や付随するインバウンド事業、各地で行われているインバウンド事業に言及

- 観光庁が実施する「旅行・観光消費動向調査」や「宿泊旅行統計調査」等のデータを基に、市場ボリュームや経年変化を分析

3. 上越市における観光の現状と課題

(1) 新潟県および上越市への観光客数とその特徴

【記載内容】

新潟県全体および上越市における観光客数の中長期的変動や年間の季節変動を整理。加えて、上越市に訪れる観光客の客体(性別・年齢・訪問回数・出発地等)や志向・目的など、特徴を分析

- 「新潟県観光統計調査」や「上越市観光客アンケート(GAP 調査)」から分析

(2)新潟県および上越市の観光消費額

【記載内容】

新潟県全体および上越市における観光消費額を中長期的に整理

(3)上越市における主なイベント、歴史・文化・観光・レジャー・温浴施設の入込状況

【記載内容】

上越市内の主要観光イベントや施設の観光入込客数を中長期的に整理

4. これまでの取組による成果と課題

【記載内容】

第四次観光振興計画の取組における成果および、取り組んだ結果、みえた課題を整理
課題は、「骨子素案(コア部分)」(第 2 回検討委員会資料)に記載されている【課題の整理】を記載

第2章 第五次観光振興計画

1. 計画の概要

(1)計画期間

(2)計画名称

(3)計画の目指す姿

【記載内容】

「骨子素案(コア部分)」(第 2 回検討委員会資料)に記載されている【観光ビジョン(めざす姿)】を記載

- 多様な地域資源を融合し、オンリーワンの選ばれる観光を育む
- 1次・2次・3次産業すべてが観光にかかわり、観光の力で経済を活性化する
- 市民が誇りと愛着を持てる、住んで楽しいまちをつくる

(4)基本方針

【記載内容】

計画コンセプト(第 3 回検討委員会資料)を記載
(案) 満足と感動！人と地域が輝く上越 ～選ばれる観光地域づくり～(仮)
計画を推進するための基本方針(第 2 回検討委員会資料)を記載
(方針1)持続的かつ基礎的に、魅力ある観光地域づくりを行う
(方針2)観光旅行者誘致強化のための重点エリアを中心とした周遊を形成する
(方針3)新たな交流機会の創出と誘客促進を図る

(5)計画目標

【記載内容】

事業・取組を推進していく上での計画の進捗状況を図る指標として目標を設定
※第 3 回検討委員会にてご検討いただく「観光振興計画のコンセプトと施策の体系(資料 1)」を基にして整理

2. 計画の位置づけ

【記載内容】

上越市総合計画との関連性を整理

3. 目指す姿の実現に向けた基本施策と施策の柱

【記載内容】

「基本施策」「施策の柱」「事業の方向性」を整理

※第3回検討委員会にてご検討いただく「基本方針に基づく取組・事業内容整理（資料3）」を基にして整理

第3章 計画の推進

1. 推進体制と主体イメージ

【記載内容】

「それぞれに期待される役割イメージ」として、市民、上越市の魅力の担い手（各種産業・事業者）、観光関連事業者・団体、大学・学生等の役割分担を整理
また、各施策の柱を推進するために必要な体制と、その主体イメージを整理

※第3回検討委員会にてご検討いただく「基本方針に基づく取組・事業内容整理（資料3）」を基にして整理

2. 計画推進に向けたシナリオ

【記載内容】

「事業の方向性」ごとに今後の進め方を整理

※第3回検討委員会にてご検討いただく「基本方針に基づく取組・事業内容整理（資料3）」を基にして整理

<参考資料>

1. 推進すべき具体的取組の一覧
2. 今回の計画策定にあたり実施した調査の概要
 - (1) 観光客アンケート調査
 - (2) 市内観光関連事業者ヒアリング調査

基本方針	基本施策	施策の柱	着手タイミングと実施期間	柱の趣旨	事業の方向性	具体的な取組・事業	推進体制(実施主体等)	取組スケジュール			
								28年度	29年度	30年度	31年度
1 魅力ある観光地域づくりのための持続的かつ基礎的な取組	(1) 地域資源の魅力向上(Product)	① 地域資源や技術を生かした食と特産品の魅力向上	早期×短期	培われてきた食や技術に付加価値を付け差別化を図るとともに、他の資源との連携により新たな土産品などの開発を行うなど、1次、2次、3次産業が連携した上越全体の魅力向上を図るとともに、市内での素材調達により経済循環を図る。	【豊かな海の幸・山の幸を活用した食の魅力づくり】 観光旅行者が旅先で感じる大きな魅力は「食を楽しむこと」であり、特に、地域食材や郷土料理など、その土地でしか食すことができないものを求める傾向にある。本市には、米や酒、海の幸や山の幸など豊富な地域食材をはじめ、市内の各地域で培われてきた魅力ある食があり、観光旅行者の嗜好に応えられる可能性が高い。一方で、米や酒などは新潟県全体のイメージとして抱かれやすいことから、素材そのものの味を保ちつつも、農林水産業や食品産業の連携を進め、他の食材との組合せや加工など新たな付加価値を付け、更なる魅力を高める。	★食の資源の整理とブランド化への研究 ★雪を活用した加工食品や農産物の雪中貯蔵商品等の開発 ★発酵のまちとして「上越発酵食品研究会」の商品開発や商品化 ★メイドイン上越をはじめとする特産品の開発や商品化 ★農業者等による地域資源を活用した新たな事業の創設や特産品開発等の支援 ★新たな発酵食品を開発と発酵食を活用したメニューの造成 ★選ばれる「上越の産品」づくり ★地産地消推進の店の拡大 ★上越野菜やくびき牛を使ったメニューの拡大 ★食に関わるイベントの実施	市、民間事業者 民間事業者 上越発酵食品研究会 民間事業者 農業者 民間事業者 民間事業者 民間事業者 市、民間事業者、「上越野菜」振興協議会、市民団体 市、民間事業者				
					【地場産品を利用した土産物づくり】 市内の各地域には、その地域で受け継がれ、その地域でしか食すことができない伝統料理や郷土料理、さらには地域の独自の工夫で創作された地域食など、魅力ある食が数多くある。そのような魅力ある食や農水産物など旬な食材などを活用した土産物づくりを進めるなどとして、多くの方に伝えていく仕組みを構築する。また、特産品の販売を通じて地域経済の活性化を図るとともに、本市を知っていただくきっかけに繋げる。	★米、日本酒をはじめ海産物や農畜産物などの食材そのもの持つ魅力と、加工品や特産品などの情報の充実 ★市内各地域の伝統料理や郷土料理、地域主体で創作された地域食などを提供する店舗の掘り起しと、食に関するデータベースを構築による一元的な食の発信の強化 ★地域が行祭事・イベントにおける地域の食、特産品の販売促進 ★首都圏や関西圏で開催される物産展等でのメイドイン上越や発酵食品、農産物、農産加工品等などのPRや販売促進 ★地域食をテーマとするイベントの開催と旅行商品化に向けた検討	市、民間事業者 市、民間事業者 市、民間事業者 市、民間事業者 市、上越観光コンベンション協会、民間事業者 市、旅行事業者				
					【グリーンツーリズムに対応した宿泊システムの改善】 近年の観光市場の動向として、従来の物見遊山的な旅行から地域固有の資源を新たに活用した体験型の要素を取り入れた旅行へ移行しており、全国各地で体験交流型観光への取組が激化している。そこで、本市を代表する体験交流型観光である「越後田舎体験推進事業」をあらゆる世代やそのニーズに対応した体験旅行に拡大する。また、リピート化や滞在の長期化を促進していくため、民泊先や受入地域の拡充を図るとともに、これまでの教育旅行に加え、個人・団体向けの体験プログラムの開発によって、受入体制の強化と魅力の向上を図る。	★全市民的な事業展開に向けた民泊家庭、受入れ地域の新規開拓 ★受入地域外からの人材活用・育成や受入れが行われていない集落における民泊家庭の新規開拓 ★教育旅行における体験プログラム(冬季プログラム、宿泊形態の多様化)の拡充(調査研究・実施)(自然観察、星座観察の拠点の活用など) ★個人・団体旅行向け体験プログラムの開発と受入システムの構築(調査研究・実施)(首都圏の「団塊の世代」をターゲットとした、シニア層向けの体験メニューの設定など)	越後田舎体験推進協議会、市 越後田舎体験推進協議会、市 越後田舎体験推進協議会、市 越後田舎体験推進協議会、市				
					【都市と農村の交流】 首都圏との農作業や酒造りを通じた体験メニューや地域の食文化を楽しんでもらう場を提供することで、地元農産物をPR・販売し、都市との交流を促進する。中山間地域ならではの農作物の栽培や農作業体験をはじめとする交流を促進する。	★都市生協パルシステム等との連携による支援 ★首都圏大学との交流事業の推進 ★農園オーナーを対象とした田植え・稲刈りツアー等の実施	生活協同組合パルシステム東京、市 市民 市				
					【信越トレイル利用促進】 長野県との県境に位置する日本を代表するロングトレッキングコース「信越トレイル」の利用促進を図るため、利用メニューの開発や環境整備を行う。	★信越トレイルの施設等整備 ★交通アクセスの確保 ★ガイド育成研修やトレイル整備活動参加者募集などによる担い手の育成 ★トレッキングツアーの企画内容の充実とサービスの向上	信越トレイル利用促進連絡協議会 信越トレイル利用促進連絡協議会 信越トレイル利用促進連絡協議会 信越トレイル利用促進連絡協議会				
					【展望園地(絵になるピクチャー空間)の整備】 住む人と訪れる人の多くが心地良いと感じる景観は、地域にとっての宝物であり、本市は、豊かな自然や田園風景、雪国の暮らしから生まれた集落やまちなみ、歴史と文化に育まれた建造物など様々なものを持っている。居住者を対象としたアンケート調査では、本市に対して自然や景観が素晴らしいとのイメージを持たれている方が多いことから、上越市景観計画に基づき良好な景観形成を推進するとともに、訪れる方々にその魅力を伝え、景観を楽しむ環境を提供する。	★田園景観、市街地景観(雁木)、まちなみ景観(寺町)づくり ★景観づくり推進組織への支援 ★小中学生向け体験を通じた景観学習の提供 ★景観アドバイザーを活用した市内の修景 ★景観に興味の持てるような景観セミナーの開催 ★魅力ある景観ポイントの発掘とホームページ等を通じた情報発信 ★偉人をめぐるルートの形成や来訪者への情報提供 ★観光パンフレットの作成と情報発信 ★年間を通じての市民に対する上杉謙信公の生き様や精神、春日山及び17支城を取り巻く歴史の伝承 ★地域イベントのPRによる地域の魅力発信	市、市民、民間事業者 市 市 市 市 市 市、観光コンベンション協会 市、市民団体 市 各イベント実施主体				
	② 地域資源の学びや体験を通じた交流促進	早期×中期	本市の特性である豊かな自然、深き歴史・文化など多様な地域資源に触れ、学び、体験できるようなメニューを充実し、滞在型の観光を推進する。	【都市と農村の交流】 首都圏との農作業や酒造りを通じた体験メニューや地域の食文化を楽しんでもらう場を提供することで、地元農産物をPR・販売し、都市との交流を促進する。中山間地域ならではの農作物の栽培や農作業体験をはじめとする交流を促進する。	★都市生協パルシステム等との連携による支援 ★首都圏大学との交流事業の推進 ★農園オーナーを対象とした田植え・稲刈りツアー等の実施	生活協同組合パルシステム東京、市 市民 市					
				【信越トレイル利用促進】 長野県との県境に位置する日本を代表するロングトレッキングコース「信越トレイル」の利用促進を図るため、利用メニューの開発や環境整備を行う。	★信越トレイルの施設等整備 ★交通アクセスの確保 ★ガイド育成研修やトレイル整備活動参加者募集などによる担い手の育成 ★トレッキングツアーの企画内容の充実とサービスの向上	信越トレイル利用促進連絡協議会 信越トレイル利用促進連絡協議会 信越トレイル利用促進連絡協議会 信越トレイル利用促進連絡協議会					
				【展望園地(絵になるピクチャー空間)の整備】 住む人と訪れる人の多くが心地良いと感じる景観は、地域にとっての宝物であり、本市は、豊かな自然や田園風景、雪国の暮らしから生まれた集落やまちなみ、歴史と文化に育まれた建造物など様々なものを持っている。居住者を対象としたアンケート調査では、本市に対して自然や景観が素晴らしいとのイメージを持たれている方が多いことから、上越市景観計画に基づき良好な景観形成を推進するとともに、訪れる方々にその魅力を伝え、景観を楽しむ環境を提供する。	★田園景観、市街地景観(雁木)、まちなみ景観(寺町)づくり ★景観づくり推進組織への支援 ★小中学生向け体験を通じた景観学習の提供 ★景観アドバイザーを活用した市内の修景 ★景観に興味の持てるような景観セミナーの開催 ★魅力ある景観ポイントの発掘とホームページ等を通じた情報発信 ★偉人をめぐるルートの形成や来訪者への情報提供 ★観光パンフレットの作成と情報発信 ★年間を通じての市民に対する上杉謙信公の生き様や精神、春日山及び17支城を取り巻く歴史の伝承 ★地域イベントのPRによる地域の魅力発信	市、市民、民間事業者 市 市 市 市 市 市、観光コンベンション協会 市、市民団体 市 各イベント実施主体					
				【ゆかりの偉人の伝承と活用】 本市は、日本画の大家・小林古径や微生物学者・坂口謹一郎、郵便の父・前島密、日本ワインの父・川上善兵衛など全国に誇れる多くの偉人を輩出している。その方々の業績を称え顕彰するとともに、観光を通じて多くの方々から訪れていただくよう取組を推進する。	★偉人をめぐるルートの形成や来訪者への情報提供 ★観光パンフレットの作成と情報発信 ★年間を通じての市民に対する上杉謙信公の生き様や精神、春日山及び17支城を取り巻く歴史の伝承 ★地域イベントのPRによる地域の魅力発信	市、観光コンベンション協会 市、市民団体 市 各イベント実施主体					
				【効果的なイベントの開催】 本市では、全国規模で誘客が期待できる高田城百万人観覧会などに加え、地域文化の中で誕生したまつりや特色ある地域イベントが数多く催されている。市民や地域住民の創意・工夫による主体的な参加の下、それぞれの魅力を高め、来ていただきたい方を明確にしたPRやプロモーションを展開していく。経済効果が高まるよう期間の長いイベントに考慮する。また、市内の行祭事・イベントの掘り起しを行い、ホームページ等を通じて広く情報発信を行う。知名度向上や連携を促進する。	★効果的なイベントの開催 ★効果的なイベントの開催	各イベント実施主体					
				【通年型観光地に向けた取組】 本市の特徴として、イベント開催時期や海水浴場シーズンなど多くの観光旅行者が訪れる一方、11月から3月までの間の観光旅行者は相対的に落ち込む傾向にある。本県の地理的特性から冬季観光はマイナスのイメージがもたれるが、近年、灯の回廊は、関東や関西において関心度が高いことから、体験参加型の事業展開や周辺宿泊施設とのタイアップ等により商品造成を行い、積極的なPRを展開する。また、冬季観光の中心となるスキー観光については、全国的なスキー人口の減少により、スキー場の入込みが縮小している。アイドルタイムの活用とオンシーズンの収入確保に努める。今後の本市のスキー産業の在り方を検討する。	★観光客開散期における事業展開や商品造成の検討 ★市内スキー場の今後の在り方の検討	旅行事業者 市					
(2) 受入環境の整備	① 快適な空間の提供	期間中×長期	今後の新たなターゲットである外国人や高齢者など、多様化する旅行者に配慮し、安心して快適に旅行することができる環境整備を進める。	【観光施設的环境整備】 既存の観光施設を広範囲から集客できる施設と地域住民が利用する施設に区別し誘客ターゲットを明確にするとともに、上越市再配置計画に基づく観光施設の再編による経営体質の強化を図り、地域の特性を生かした魅力あるサービスを提供する。	★上越市再配置計画に基づく観光施設の再編 ★観光案内表示の整備	市 市					
				【観光案内表示の充実】 主要な観光地に設置する観光案内看板をはじめ、目的地までの誘導サインや歓迎のためのサインなど、高齢者や障害者、外国人などに配慮したユニバーサル指針に基づきわかりやすい案内表示の整備を進める。	★観光案内表示の整備	市					

基本方針	基本施策	施策の柱	着手タイミングと実施期間	柱の趣旨	事業の方向性	具体的な取組・事業	推進体制(実施主体等)	取組スケジュール																	
								28年度	29年度	30年度	31年度														
(Place)					【トイレ・休息所等の充実】 まち歩き観光の推進やピクチャーポイントなどにおける休憩ベンチを充実させるほか、観光施設を利用する方々にとって快適な利用環境を提供するため、公衆トイレの計画的な改修を行う。	・休憩スペースの整備	市																		
						★公衆トイレの改修	市																		
						★北陸新幹線や佐渡汽船のダイヤに合わせた観光交通を整備	交通事業者																		
						★利用者のニーズを的確に捉えた観光周遊バス「ぶらっと春日山・高田号」や観光タクシー「ちょこっと観光タクシー」等の運行ルートの設定や見直し	観光コンベンション協会、交通事業者																		
						★観桜会など集客が見込めるイベントの開催に合わせた公共交通の確保	観光コンベンション協会、交通事業者																		
						★バス時刻表のインターネット検索サイトへの対応拡充	交通事業者																		
						★駅を起点とするレンタルサイクルの整備	交通事業者																		
						★観光周遊バス「ぶらっと春日山・高田号」と「えちごトキめき鉄道」の相乗効果を図る連携商品の創設	観光コンベンション協会、交通事業者																		
						【並行在来線の利用促進】 近年、全国では新たな観光として地域鉄道を活用した取組が展開されている。えちごトキめき鉄道やほくほく線といった地域鉄道や駅舎を活用した観光振興策を展開する。	・観光周遊バス「ぶらっと春日山・高田号」と「えちごトキめき鉄道」の相乗効果を図る連携商品の創設	観光コンベンション協会、交通事業者																	
								③ 観光案内機能の充実	早期×中期	観光資源が市内に点在しているため、観光案内所の情報の充実のほか、コンビニやガソリンスタンドなど、気軽に立ち寄れる場所での観光案内機能の充実化を図る。また、情報通信環境(Wi-Fi等)の整備を進め、円滑な観光情報の受発信環境を整える。	【観光案内所の機能充実】 本市を訪れる観光旅行者の利便性を高めるとともに周遊性を向上させるため、観光案内所の機能の改善・強化し、市内の観光情報を適切に提供する。また、本市で訪れた観光旅行者が最初に食す料理が市全体の食のイメージとして捉えられる傾向にあることから、上越妙高駅での魅力ある商品を提供する。	★上越妙高駅でのルートコンシェルシステム機能を活用した滞在時間や目的に対応した周遊プランの充実と「食べる」「見る」「遊ぶ」「買う」「泊まる」のそれぞれのカテゴリでの好みのプランの提供	観光コンベンション協会、市												
★SAKURAプラザで提供する食や特産品、観光情報などに関する顧客ニーズ調査結果に基づく魅力ある商品や観光情報の提供	観光コンベンション協会、民間事業者																								
★高田駅前観光案内所の利活用の検討	市																								
★案内、手配(ツアー、送迎、宿泊施設などの手配)に関するワンストップサービスの提供	上越観光コンベンション協会																								
★鉄道駅や道の駅、高速道路サービスエリア、佐渡汽船ターミナルなど本市の玄関口付近での早い段階での情報提供の強化	市、交通事業者																								
★市内のガソリンスタンドやコンビニエンスストア、宿泊施設など立ち寄り機会の多い施設での情報提供の強化	市、ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、宿泊施設																								
★北陸新幹線開業により移動時間が大幅に短縮した首都圏、関西圏及び中京圏の主要駅におけるデジタルサイネージ等を活用した主要イベントの情報発信の強化	市																								
★公共データ等を活用した観光情報の充実やSNSサイトを等を活用したロコミ情報の受発信	市、旅行者、市民																								
★情報の一元化や情報発信量・発信手段の増加による情報発信強化	市																								
★Wi-Fi環境の整備を進める。	市、民間事業者																								
(3) 人材育成、組織強化 (People)		① 地域資源を知る機会の充実	期間中×長期	観光振興を進めるためには、観光関係団体や観光事業者、行政に限らず、市民や地域でまちづくりに携わる団体の理解と協力が必須であることから、本市の地域資源に対する興味・関心をもってもらい、その魅力を知らせていただく機会を提供し、観光に関する機運を醸成する。	【生涯学習における地域資源に触れ合う場の提供】 幼ないころから地域の自然や歴史、文化などに触れる機会を提供することで、子供たちに地域を知り、興味を持ち、愛着や誇りを持つことを通じて次代を担う人材の育成に繋げる。また、積極的に観光振興を進めるためには、観光事業者に限らず、すべての市民の理解と協力が不可欠であることから、観光への理解を深めてもらうための生涯学習を通じた意識醸成を図る。	★総合学習における観光に関する体験授業	小・中学校、市																		
					★キャリアスタートによる観光に関する職場体験の実施	中学校、市、民間事業者																			
					★謙信KIDSスクールプロジェクトの推進	市民、市																			
					・市内大学、専門学校等に通学する学生の兼続隊参加などによる観光宣伝に関わる機会の創出	市民、市																			
							② 人材の育成に連携と活躍	期間中×長期	市民の観光に対する意識を醸成し、観光振興の一翼を担う意欲を高めるとともに、観光に携わる人材の育成とレベルアップを図る。	【観光ガイドの育成と質の向上】 旅行先での質の高い観光案内は、観光旅行者の満足度とリピーター率を高めるものであることから、観光ガイドの育成と専門知識の取得、接遇のレベルアップに取組む。また、観光旅行者の市内周遊を促進するため、市内に複数ある観光ガイドに取り組む団体の連携を図る。	・歴史・文化などに熟知した専門家を講師に招いた更なるスキルアップ研修の実施によるビジネス意識の醸成	観光コンベンション協会、市													
										★市内で活躍する観光ガイドの連携体制の構築	観光コンベンション協会														
										★外国人観光旅行者向け観光ガイド体制の整備	上越市インバウンド推進協議会(市、県、観光コンベンション協会、商工会議所、国際交流協会)														
												③ 観光組織に連携する強化	早期×長期	市内の観光関連団体や組織が連携するとともに、他産業(1次産業・2次産業・3次産業等)にも働きかけ、積極的・主体的に観光産業に関わる意欲を高める。	【連携強化できる組織への取組推進】 各組織が連携し、地域への観光集客を促進するために、着地と発地双方のニーズを踏まえて検討する「マーケティング機能」や観光品質の向上や利害調整を図る「マネジメント機能」、観光団体と行政の連携や資金調達、市内の周遊ルートなどを一体的に行うなど有効な組織への研究を進める。	★正確なデータに基づき観光マーケティングを行い、各組織(地域)との連携によるDMOの研究	観光コンベンション協会、市								
															(4) 観光情報の充実と効果的な情報発信、プロモーション (Promotion)	① 多様な視点で把握する観光市場の動向	早期×長期	多様化する観光動向や市場ニーズ、観光旅行者の発地段階での旅行検討動向・実態、着地後の旅行行動・実態を把握し、観光地や地域資源の情報として、いつ、どのような内容が求められているか分析し、それを活用した情報発信とプロモーションを展開する。	【観光統計等の手法整備と観光統計等のデータ活用】 効果的な観光振興策を展開するに当たって、観光市場の動向やニーズの数値に基づく合理的かつ戦略的な観光振興策の立案が求められることから、国の統計基準に基づく客観的な動向値や統一的なアンケート調査手法による観光ニーズなどの把握のため、必要な整備を行う。また、観光は経済活動に寄与するものであることから、量的な効果測定のため、観光振興による経済波及効果算出の手法を確立する。 また、観光統計等のデータを地域・性別・年齢などの属性や、意識する競合エリアやターゲットエリアなど多角的な視点で分析することで、本市の強みや弱み、課題・問題点を顕在化させる。また、導かれた分析結果を観光に携わる主体と共有し、効果的な観光振興策の立案に活用する。	★国の統計基準に基づく観光動向調査の実施とビッグデータの活用	市				
																			★観桜会等のイベントにおける来訪者向けアンケート調査手法の確立と実施	観光コンベンション協会、市					
★上越妙高駅や佐渡汽船ターミナル等における利用動向調査及びその分析	市																								
★首都圏や関西圏などにおける意識調査(認知度、関心度、来訪意向等)手法の確立と実施	市																								
★経済専門家の指導に基づく経済波及効果の測定手法の確立と公表	市																								
★観光関係団体や観光事業者などの観光に携わる主体との分析結果の共有化	市、観光関係団体・事業者																								
★分析結果に基づく情報発信の内容やプロモーションの方策の検討	観光コンベンション協会、市																								
	② 観光旅行者の旅行行動を捉えた情報発信	早期×長期	観光旅行者の旅行行動の各段階(旅行意欲が喚起される段階/旅行計画段階/旅行中/旅行後)に応じた必要な情報を的確に提供できるよう情報内容を編集・整理し、各段階にマッチしたツールやメディアを活用した情報発信を行う。	【地域の歴史文化を活かした観光地イメージの向上】 観光地イメージは観光旅行者に旅先を決定する際に、大きな影響を与えるものと考えられ、本市においては、全国に知られ戦国武将の中での人気が高く、また多くの市民が誇りに感じている「上杉謙信公」を引き続き本市の観光イメージに位置付け、興味・関心や旅行意欲を高めてもらえるよう情報発信を強化する。	★「上杉謙信公のふるさと・上越市」という観光イメージの情報発信媒体(イメージポスター、ホームページ、パンフレット等)を使用したPRの強化	観光コンベンション協会、市																			
				★「上越忠義隊けんけんず」や「越後上越 上杉おもてなし武将隊」による観光旅行者へのおもてなしや首都圏や関西圏などでの観光PRの強化	観光コンベンション協会、市																				
				★旅行エージェントに対して上杉謙信公ゆかりの地であることでのPRと合わせ、謙信公祭参加ツアー商品の提案	観光コンベンション協会、市																				
				★NHK大河ドラマ「真田丸」を契機とし、謙信公ゆかりのある戦国武将をテーマに、魅力ある商品作成などにより誘客を促進。また、放映後の余韻効果を持続させるような取組を展開	観光コンベンション協会、市、民間事業者																				
				★テレビや映画などの映像を活用した上越市観光の知名度向上のための情報発信	観光コンベンション協会、市																				
				★雑誌を活用した四季折々の誘客イベントや地域資源の魅力伝えるための情報発信(広告掲載だけでなく、本市の資源・イベント紹介記事を掲載する招へい事業とあわせて実施)	観光コンベンション協会、市																				
				★公共交通機関とのタイアップによる上越市観光の知名度向上のための情報発信	観光コンベンション協会、市																				
				★本市の観光情報を魅力的かつ正確にわかりやすく伝えるための観光宣伝物(ポスター、チラシ、パンフレット等)の充実	観光コンベンション協会、市																				
				★豊富で旬な情報を掲載した使いやすい観光ホームページの充実	観光コンベンション協会、市																				
				★「上越ファン(上越応援団)」の育成によるSNSやロコミを活用した情報発信	市、観光コンベンション協会、県人会組織																				
★集客プロモーションパートナー事業(長野市、甲府市、佐渡市、静岡市、藤岡市)の展開による相互のPR活動を通じた誘客促進	市																								

基本方針	基本施策	施策の柱	着手タイミングと実施期間	柱の趣旨	事業の方向性	具体的な取組・事業	推進体制(実施主体等)	取組スケジュール										
								28年度	29年度	30年度	31年度							
						<p>★観光物産展の開催やスポーツ・文化交流事業を通じた姉妹都市等の交流促進による特産品の販路拡大や本市の知名度向上・誘客促進</p> <p>★営業活動・キャンペーンの実施による大都市圏・海外に向けた知名度向上</p> <p>★Webサイトにおける最新技術活用(AR技術等)による情報発信</p>	市											
		③ 戦略的プロモーションの強化	早期×長期	近隣自治体、広域連携都市等と相互連携による誘客エリアとテーマを絞った観光周遊ルートの形成とプロモーションの強化を図る。	<p>【周辺自治体との連携による周遊観光の促進】</p> <p>周辺自治体と連携し、上越市をはじめとする周辺地域全体の魅力を伝える周遊・滞在の方法を検討し、市域を超えたプロモーションの強化を図る。また、上越市の周辺エリア内における利便性の高さや多様な観光資源をいかした観光ルートの創出やPR活動を行い、集客を図る。</p> <p>【北陸新幹線沿線都市との連携による周遊観光の促進】</p> <p>北陸新幹線という共通の移動手段を持つ沿線の自治体と連携することで、テーマに基づく広域的な周遊ルートのPR、観光情報の相互発信などにより集客を図る。</p> <p>【長野県北信地域及び妙高市との連携による周遊観光の促進】</p> <p>人的・経済的な交流の深い長野県北信地域及び妙高市と連携し、2泊3日以上滞り可能な「観光圏」の形成を目指す。「海と山」などの魅力ある観光資源を活かし、宿泊サービスや観光資源を活用したサービスの向上、移動の利便性の向上を図るほか、積極的な情報発信を行う。</p>	<p>★妙高市と糸魚川市との連携のための周遊・滞在ルートの創出、広域観光マップの作成、連携イベントの開催、観光情報の相互発信の実施</p> <p>★佐渡市と連携した広域観光ルート開発と、共同プロモーション展開(観光パンフレットの作成やキャラバン活動、メディア広告)や旅行エージェンツへの旅行商品の提案</p> <p>★謙信公とゆかりのある戦国武将をテーマとした北陸新幹線沿線都市(上田市、金沢市)や関係機関との連携</p> <p>★長野県北信地域及び妙高市との連携による宿泊サービスや観光資源を活用したサービスの向上、移動の利便性の向上、積極的な情報発信</p>	<p>上越・糸魚川・妙高観光連携実行委員会、上越・妙高観光連携会議、北アルプス日本海広域観光連携会議、新幹線まちづくり推進上越広域連携会議、市</p> <p>佐渡市・上越市観光・航路連携協議会、新幹線まちづくり推進上越広域連携会議、市</p> <p>北陸新幹線停車駅都市観光推進会議、市</p> <p>信越観光圏協議会、市</p>											
2	(1) 重点集客エリアの魅力向上と周遊形成	① 花と雪の城下町高田周辺エリア	早期×長期	<p>・高田の歴史的特徴と訴求性の高い観光会を軸とし、集客ターゲットを明確化した誘客促進を図るとともに、座禅体験や伝統技術体験なども盛り込んだ「まち歩き観光」による高田中心市街地への回遊など、エリア内の魅力の向上を図り、江戸時代を想起させるような古いまちなみのイメージを作る。</p> <p>・重点集客エリアを中心としてストーリーを設定し、ストーリーに紐づいて市内の地域資源をめぐる周遊コースを設定する。</p> <p>・上越市に隣接する妙高市や佐渡市などと連携し、重点集客エリアを組み込んだ周遊ルートを設定し、重点集客エリアの新たなストーリーと価値を創造する。</p>	<p>【中心市街地高田の賑わいづくり】</p> <p>まちの歴史・文化を活かした活性化策の中心市街地活性化プログラムでは次の4つの取組を掲げ「街のにぎわいの向上」を目指している。</p> <p>取組1 「イレンプラザ」「あすとびあ高田」の2核と1モール(商店街)を結び連携</p> <p>取組2 個店の魅力向上と歴史文化を活かした活性化策</p> <p>取組3 まちづくり会社と商店街によるタウンマネジメント</p> <p>取組4 空き店舗等への円滑な出店に資する推進体制の整備</p> <p>平成27年度時点で、60近い事業ある中、町家、雁木通り、寺町寺院群等を結び街歩き、あわゆき道中、風鈴街道、雁木、オープニングガーデン、高田警舎の門付けと演奏会・バスツアー、本町めぐりツアー、花ロード、上越まつり、SAKEまつりなど、観光客の誘客につながるよう情報発信で連携を深め進める。また、城下町高田エリア内のスムーズな移動手段を検討し、まちなか周遊を促進する。</p> <p>【観桜会への誘客力の向上】</p> <p>本市最大の誘客を誇る高田城百万人観桜会の内容や受入体制の充実を図るため、新たなイベントの実施や交通アクセスの見直しなどの取組を行う。また、よりよい桜を訪れる人々に提供できるよう、桜の保護、育成にも力を入れるとともに、市内の他の桜の名所と連携した取組を進める。</p>	<p>・高田本町商店街の営業時間延長と青田川沿いの飾り付けによる賑わい創出</p> <p>・歴史的風致向上のための寺町界隈の修景及び寺院群を活かしたまちづくりによる誘客の推進</p> <p>★商店、市民団体等によるイベント実施、情報提供、発信</p> <p>★高田本町商店街逸品創出事業の実施</p> <p>★街なかツアーの実施</p> <p>★地域資源の活用・再生</p> <p>★高田まちづくりのタウンマネジメント事業の推進及び本町コンシェルジュ事業等を通じた街なか案内の人材育成</p> <p>★商店街の情報発信</p> <p>★空き店舗対策・利用促進</p> <p>★個店の魅力アップセミナーの開催</p> <p>・市内の子供が誕生した際の桜苗木とプレートの贈呈及び高田公園への植樹活動</p>	市、高田本町商店街振興組合、市民団体	市、市民団体	市、高田本町商店街振興組合、市民団体	高田本町商店街振興組合、市民団体	高田本町まちづくり(株)	高田本町まちづくり(株)	市、上越市中心市街地活性化協議会、市民団体	高田本町まちづくり(株)				
		② 上杉謙信公の居城・春日山城跡周辺エリア	早期×長期	<p>・上杉謙信公ゆかりの地の観光地として、春日山城跡の環境整備を進めるとともに、春日山城跡に滞在時間を確保できるコンテンツを作るなど、エリア内の魅力向上を図り、戦国時代を想起させるような「上杉謙信公のふるさと・上越」のイメージを作る。</p> <p>・重点集客エリアを中心としてストーリーを設定し、ストーリーに紐づいて市内の地域資源をめぐる周遊コースを設定する。</p>	<p>【春日山城跡の魅力向上と周辺ゆかりの地への誘客促進】</p> <p>これまでの「謙信公・聖地(フィールド・ミュージアム構想)」の実現に向けて取組を継続し、同エリアの魅力の向上と誘客を促進する。また、市内には上杉謙信公ゆかりのあるスポットが点在しており、その地をめぐる周遊ルートの形成や、上越市史・旧町村史で掲載されている謙信公にまつわるエピソードをまとめた物語集など魅力的なツールを充実させ、春日山城ほか市内17支城を含め市内の周遊を促進する。</p>	<p>★春日山城跡の観光魅力の増進</p> <p>★地域内外との連携による観光客の受入れ</p> <p>★春日山周辺における観光拠点の整備、拡充</p> <p>★春日山周辺の情報提供・滞在環境の整備</p> <p>・春日山城跡への交通アクセスの改善</p> <p>・地域資源を用いた物産品・食の開発と提供</p>	観光コンベンション協会、市、商工会議所	観光コンベンション協会、市、商工会議所	市、観光コンベンション協会、商工会議所	観光コンベンション協会、市、商工会議所	観光コンベンション協会、市、交通事業者、商工会議所	商工会議所、観光コンベンション協会、民間事業者、市						

基本方針	基本施策	施策の柱	着手タイミングと実施期間	柱の趣旨	事業の方向性	具体的な取組・事業	推進体制(実施主体等)	取組スケジュール							
								28年度	29年度	30年度	31年度				
		③ 新水族博物館を中心とした日本海沿岸エリア	早期×長期	<p>・直江津は、奈良時代には越後国府の要港として賑わい、明治時代の鉄道開通後は、海陸交通の要衝として発展してきた。今後、大きな集客力が発揮されることが期待できる新水族博物館の建設が予定され、本施設を中心とし、食や海でのアクティビティ、温泉などの組合せや直江津中心市街地への回遊などエリア内での新しい魅力の創出を図り、「港と鉄道のまち直江津」のイメージを創造する。</p> <p>・上越市に隣接する妙高市や佐渡市などと連携し、重点集客エリアを組み込んだ周遊ルートを設定し、重点集客エリアの新たなストーリーと価値を創造する。</p>	<p>【中心市街地直江津の賑わいづくり】 中心市街地活性化プログラムでは次の4つの取組を掲げ「街のにぎわいの向上」を目指している。 取組1 各拠点施設の利用者をまちなかへ誘導する仕組みづくり 取組2 関係団体の連携による各種事業の推進 取組3 連携組織の持続的な取組及び自立化へ向けた検討 取組4 空き店舗等への円滑な出店に資する推進体制の整備 平成27年度時点で、60近い事業で取り組まれている中、LLC直江津まちみらいによる旅情のまち・直江津迷宮案内街歩きツアー、四十物祭り、アート商店街、鉄道まつり、上越まつりなど、観光客の誘客につながる街の賑わいや、鉄道のまち直江津のイメージを創出させるよう、直江津駅を中心とした鉄道資産を活用した振興策を展開するとともに、えちごキメキメ鉄道とほくほく線といった地域鉄道やJRとの連携による列車を生かした広域周遊観光に向けた検討を行う。</p> <p>【新水族博物館の活用とまちなか周遊】 ・誰もが気軽に安心して入館できる仕掛け・空間づくり、上越市への愛着と創造性を育むとともに、賑わいづくりの拠点としての性格も持ち合わせた施設として建設される新水族博物館を活用した体験型観光及び周遊型観光を推進する。</p> <p>【港を利用する寄港者への取組】 新潟県と連携し、国内外の旅行エージェント等に対し直江津港へのクルーズ船の寄港を促したり、佐渡航路利用者の市内回遊を検討する。</p>	<p>★公共施設(直江津学びの交流館・水族博物館)と商店街等をつなぐインフォメーション掲示板等の設置</p> <p>★来街者をおもてなしする人材(アテンダント)の育成</p> <p>★街なかガイドマップの作成及びおもてなし研修の実施</p> <p>★地域資源の活用・再生</p> <p>★直江津のPR、イベント実施、情報提供・発信</p> <p>★空き店舗対策・利用促進</p>	市 観光コンベンション協会、市 直江津まちづくり活性化協議会、市民団体、市 直江津まちづくり活性化協議会、市民団体 市、直江津まちづくり活性化協議会、市民団体 市、上越市中心市街地活性化協議会、直江津まちづくり活性化協議会								
					力(2)上) 集客エリアの魅	エ① 中山間地域・田園地域	早期×長期	<p>田舎体験交流、都市農村交流など体験型メニューの提供や、登山やアウトドア、トレイルなど自然とふれあう機会の提供など地域の特性を生かした滞在型観光を推進する。市民の余暇休暇空間としての活用を図る。</p>	<p>【中山間地域の余暇休暇空間の活用】 越後田舎体験を始めとする中山間地域における環境や資源を活用した様々な事業の展開により、観光による地域の活力と農家の副収入の増を図る。</p>	<p>★滞在型観光の推進</p> <p>★地域の食材の提供と体験による交流の推進</p> <p>★地域の資源を活かした整備(展望施設など)</p>	越後田舎体験推進協議会、市 越後田舎体験推進協議会、市 信越トレイル利用促進連絡協議会				
									3 新たな交流機会の創出と誘客促進の取組	(1) MICEの誘致	早期×短期	<p>【オリンピック・パラリンピック合宿誘致の取組強化】 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を、スポーツの振興はもとより観光振興の振興に寄与するものと捉え、合宿誘致に向けた取組を強化する。</p>	<p>★オリンピック・パラリンピックに関する情報収集・発信</p> <p>★合宿招致を行う国及び協議種目の検討・選定</p> <p>★合宿招致に必要な受入れ体制(宿泊、交流イベント等)の検討</p> <p>★合宿招致に必要な施設機能・設備の検討</p>	2020年東京オリンピック・パラリンピック上越市合宿招致委員会、上越MICE誘致協議会(仮称) 2020年東京オリンピック・パラリンピック上越市合宿招致委員会、上越MICE誘致協議会(仮称) 2020年東京オリンピック・パラリンピック上越市合宿招致委員会、上越MICE誘致協議会(仮称) 2020年東京オリンピック・パラリンピック上越市合宿招致委員会、上越MICE誘致協議会(仮称)	
早期×長期	<p>【コンベンション誘致の体制強化】 上越観光コンベンション協会に全国的なコンベンションやイベント、スポーツ大会などの開催関連情報が集まるワンストップ体制を整備し、誘致を強化する。</p> <p>【アフターコンベンションの充実】 コンベンションを契機に本市を訪れた方々に、長く滞在してもらえるよう、または再来動機を喚起するために、会議やイベントが終わった後に本市の魅力を感じてもらえるようなMICE参加者向けの魅力あるサービスを提供する。</p>	<p>★全国規模の会議や学会、国際会議や大規模見本市などの開催に対する助成支援</p> <p>★上越MICE誘致協議会(仮称)の組織化による情報収集と関係機関等への誘致活動の強化</p> <p>★MICE商談会への積極的出展と誘致につながるビジネスマッチングの展開</p> <p>★国際ミーティングエキスポ出展</p> <p>★MICE開催に合わせたイベントの実施</p> <p>★MICE参加者への食事、宿泊施設、交通機関の割引券の発行</p>	上越MICE誘致協議会(仮称) 上越MICE誘致協議会(仮称) 上越MICE誘致協議会(仮称) 上越MICE誘致協議会(仮称) 上越MICE誘致協議会(仮称)												
(2) 外国人旅行者の誘致	① 外国人旅行者の受入環境整備と人材育成	早期×長期	<p>ターゲットとする外国人を設定し、そのニーズ把握を行い、本市が保有する地域資源との整合を分析し、近隣自治体との相互連携による誘致強化を進める。</p>	<p>【外国人旅行者受入体制の整備】 外国人旅行者が市内を巡りやすいよう案内看板や標識など受入基盤の整備や観光関係者を対象とした受入れ研修など、地域全体で、質の高いサービスと人材を育成する。ターゲット国:「台湾」、「韓国」、「中国(香港・上海)」、「オーストラリア」、「東南アジア(タイ、シンガポール、マレーシア)」</p>	<p>★外国語表記のパンフレットやメニュー表の作成、外国語ホームページの開設</p> <p>★外国語表記の案内看板・道路標識等の設置</p> <p>★外国語による基礎的な会話と接遇の向上に向けた受入れに関する研修等の実施</p> <p>★外国人観光客の旅行事情に精通し、営業活動、民間事業者の指導及び現地コーディネーターとしての役割を担える、キーとなる人材の育成</p> <p>★公共施設、民間の無線LAN(Wi-Fi環境)の整備</p> <p>★免税店、クレジットカード取扱店の拡充</p> <p>★外国人観光客の受入体制の向上を目指す観光関係事業者への支援制度創設の検討</p>	上越市インバウンド推進協議会(市、県、観光コンベンション協会、商工会議所、国際交流協会) 上越市インバウンド推進協議会(市、県、観光コンベンション協会、商工会議所、国際交流協会) 上越市インバウンド推進協議会(市、県、観光コンベンション協会、商工会議所、国際交流協会) 上越市インバウンド推進協議会(市、県、観光コンベンション協会、商工会議所、国際交流協会) 上越市インバウンド推進協議会(市、県、観光コンベンション協会、商工会議所、国際交流協会) 上越市インバウンド推進協議会(市、県、観光コンベンション協会、商工会議所、国際交流協会)									
				成者② 向外国販売商人品旅行	早期×長期	<p>【外国人旅行者向け商品の造成】 外国人旅行者の滞在期間中及び土産品としてのニーズに基づく商品の造成及び販売を促進することにより、市内経済の活性化を図る。</p>	<p>★外国人目線での、誘客素材の絞り込み及びこれに基づく営業ツールの作成</p> <p>★外国人観光客を対象とする市内日帰りツアー(オプションツアー)の造成</p>	上越市インバウンド推進協議会(市、県、観光コンベンション協会、商工会議所、国際交流協会) 上越市インバウンド推進協議会(市、県、観光コンベンション協会、商工会議所、国際交流協会)							
				信③ 戦略的な情報発信	期間中×長期	<p>【外国人に向けた情報発信】 外国人旅行者の誘致に向けて戦略的かつ効果的な情報発信とプロモーションを実施することにより、旅行先として選ばれるまちになる。</p>	<p>★「雪」「桜」を訴求テーマとした誘客促進国(地域)への現地プロモーションの実施</p> <p>★妙高市と連携し冬季のオーストラリアを始めとする外国人スキーヤーの本市への誘客の強化</p> <p>★姉妹都市交流を通じた外国人観光旅行者の誘致の推進</p>	上越市インバウンド推進協議会(市、県、観光コンベンション協会、商工会議所、国際交流協会) 上越市インバウンド推進協議会(市、県、観光コンベンション協会、商工会議所、国際交流協会) 上越市インバウンド推進協議会(市、県、観光コンベンション協会、商工会議所、国際交流協会)							

※ 着手タイミングと実施期間について

・着手タイミング…「早期」:計画期間内で早期に着手すべきもの、「期間中」:計画期間中に着手すべきもの

・実施期間…「長期」:すぐには成果が出ないため、時間をかけて取り組む必要があるもの、「中期」:一定程度の期間重点的に取り組むことで下地ができ、成果が表れるもの、「短期」:短期的に集中して取り組むことで成果が出るもの